

図書委員のおすすめの本



【明日の世界が君に優しくありますように】

汐見夏衛/作

家族や友人との関係に悩み心を閉ざした少女が、祖父母の家から高校に通ううち、周囲の温かさ、優しさに触れて少しずつ気持ちを和らげ変わっていく。しかし彼女のかたくなさを受け止め、支えてくれた周囲の人たちそれぞれにも深い悲しみや悔いがあることを知り、自分の弱さに立ち向かっていくという、わかりやすく優しい物語。学生ならではの悩みや葛藤がかかれており共感できる人も多いのでは？みなさんも一度読んでみてください。



【天久鷹央の推理カルテ】

知念実希人/作



天医会総合病院の屋上にあるレンガ造りの『家』には、とある天才女医が住んでいた。その女医は「統括診断部」という診断困難な患者の診断をする特別部門に所属している。彼女の好奇心は病気にとどまらず、部下に当たる男性内科医と共にその頭脳を活かして警察の捜査が難航している怪事件に首を突っ込んでいく。

トリックが明かされたとき、痛快な気分を味わえる医療系ミステリー。

【BLACKJACK】

手塚治虫/作

主人公のブラックジャックは神業と呼ばれるほど天才的な手術の腕を持ち、どんな難病も治してしまう。だが、医師免許を持っておらず、見た目は不気味で高額の手術代を取る。しかも、殺し屋に狙われることもある。どハマリするので、ぜひ読んでください。

